

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜わり厚くお礼申し上げます。

2024年3月期第3四半期決算短信、プレスリリースなど、当社の近況をご報告させていただきます。

株主の皆様には今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

① 2024年3月期第3四半期 業績ご報告

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済の景気は、緩やかに回復しております。個人消費は、新型コロナウイルス感染症の5類への移行により、外食・宿泊・娯楽などの対面型サービスを中心に回復しておりますが、物価高の影響で一部に弱い動きが見られます。インバウンド需要は水際対策の解除や円安の影響で大幅に増加しております。

消費者物価（生鮮食品を除く総合）は、2023年1月に前年比4.2%と約40年ぶりの高い伸びとなった後、政府の電気・都市ガス代に対する負担緩和策を受けて伸びが鈍化し、9月以降は同2%台で推移しております。

こうした経済状況をうけ、当社グループのヘルスケア事業は、同中間期に引き続き、ナショナルブランド品の「ビフィーナ®」や「目もとパックシート」「口もとパックシート」といった、かねてよりインバウンド需要が高い製品の売上げが復調傾向にあります。特に「ビフィーナ®」については、整腸効果をもつビフィズ菌を配合した機能志向食品分野において、27年連続売上No.1*を獲得し、2023年9月に発売から30周年の節目を迎えました。2023年12月には中国専売子ども向けサプリメントとして「ビフィーナ® Cute」を発売開始するなど、国内はもちろん、アジアを中心とした国や地域で新たなターゲット層の獲得に努めております。また今後、中国だけではなく、世界各地で拡販し、子どもたちのおなかの健康に貢献できるよう試行錯誤を続けてまいります。

機能性素材販売は堅調に推移しており、今後も新規案件の獲得を進めてまいります。またジェネリック医薬品の製造販売についても、堅調に推移しており、引き続き、患者様とご家族のQOL向上につながるよう、安定供給に努めてまいります。

カプセル受託事業は、可食分野においてフレーバーカプセルの販売が、産業用（非可食）分野においては化粧品シームレスカプセルが引き続き堅調に推移しております。また、2022年に発表した腸内の特定部位で崩壊するカプセル技術（大腸送達性製剤）の研究・開発を継続しており、製品化を目指しています。今後も、高付加価値シームレスカプセルの開発・製造、オープンイノベーションによるパートナーとの共創を推進してまいります。また、そこで得られた知見を新たなシームレスカプセル技術開発に応用するサイクルを構築して、社会へシームレスカプセル技術を通じたソリューションの提供を続けてまいります。

また、2023年12月にはワダカルシウム製薬株式会社の製造部門を会社分割により当社の100%子会社「株式会社MJ滋賀」として

取得し、当社グループに加わりました。同社の食品、医薬品製造にかかる錠剤の製剤技術、及び製造、品質管理のノウハウを当社の持続的な成長及び企業価値最大化へつなげるべく、今後も事業を展開してまいります。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高9,363百万円（前年同四半期比12.0%増）、営業利益946百万円（前年同四半期比72.2%増）、経常利益988百万円（前年同四半期比68.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益735百万円（前年同四半期比66.5%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

① ヘルスケア事業

当セグメントにおきましては前述のとおり、「ビフィーナ®」をはじめとしたインバウンド需要と親和性の高い製品が復調にあり、また現地代理店との連携によりアジア地域での売上げも堅調に推移しております。

当セグメントにおきましては、売上高は、6,321百万円（前年同四半期比0.1%増）、セグメント損失は、一時的な在庫評価減による影響で37百万円（前年同四半期はセグメント利益144百万円）となりました。

② カプセル受託事業

当セグメントにおきましては、フレーバーカプセルの製造受託による売上が前年同四半期と比べ増収となりました。今後もパートナー企業やアカデミアとの共同研究により、シームレスカプセルを用いた社会課題解決への取り組みを展開してまいります。

当セグメントにおきましては、売上高は、3,036百万円（前年同四半期比48.4%増）、セグメント利益は、977百万円（前年同四半期比143.1%増）となりました。

③ その他

当セグメントにおきましては、売上高は、5百万円（前年同四半期比101.8%増）、セグメント利益は、5百万円（前年同四半期比101.8%増）となりました。

（百万円未満切捨て）

2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	9,363	12.0	946	72.2	988	68.3	735	66.5
2023年3月期第3四半期	8,361	20.3	549	578.2	587	455.2	441	226.9

（注）包括利益 2024年3月期第3四半期 794百万円（4.8%） 2023年3月期第3四半期 757百万円（485.3%）

（2024年2月8日公表）

2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
2024年3月期予想	12,000	5.6	950	66.9	1,000	60.3	800	62.6	195.79
2023年3月期実績	11,359	18.8	569	90.2	623	82.9	491	73.4	120.55

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

ビフィズス菌配合「ビフィーナ®」より、子ども向けサプリメントが新登場

② **ビフィーナ® Cute** 2023年12月6日 中国専売にて発売開始!

New!!



「ビフィーナ® Cute」について

薬やサプリメントを飲むことが苦手な子どもでも飲みやすいヨーグルト味顆粒を使用。また、虫菌になりにくいシュガーフリーで、子どもの発育に大切な、鉄、カルシウムといった栄養素も配合されています。

中国では、「ビフィーナ®シリーズ (R・S・EX)」をすでに販売しております。この度、4歳から14歳ごろまでの子どもを対象とした「ビフィーナ® Cute」を発売することで、ライフステージに応じて皆さまの健康に寄り添っていきます。



製品概要

製品名	ビフィーナCute(キュート)
名称	ビフィズス生菌利用食品
原材料名	エリスリトール、オリゴ糖、食用油脂、ゼラチン、ミルクカルシウム、ビフィズス菌末/グリセリン、酸味料、乳化剤、香料、増粘剤(ペクチン)、ピロリン酸第二鉄、着色料(クチナシ)、(一部にゼラチン・大豆・乳成分を含む)
内容量	30袋
お召し上がり方	1日1~2袋を目安に水などと一緒に噛まずにお召し上がりください。
保存方法	直射日光、高温、多湿をさけて保管してください。
販売チャネル	中国

当社は、27年連続売り上げNo.1*のビフィズス菌サプリメント「ビフィーナ®」シリーズより、中国専売子ども向けサプリメントとして「ビフィーナ® Cute」を2023年12月6日より発売いたしました。「ビフィズス菌」20億個に加え、子どもの発育に大切な「鉄」と「カルシウム」を配合しています。

当社は2020年から中国の医薬品業界トップグループである「国薬控股星鮫製薬(厦門)有限公司」と2020年に独占販売契約を締結、「ビフィーナ®」シリーズを中国市場に展開しております。

※出典：富士経済「H・B フーズマーケティング便覧 1998~2024」機能志向食品編 腸効果ビフィズス菌メーカーシェア (1996~2022年実績) ビフィーナ®シリーズ全体での売り上げ(旧商品も含む)

「ビフィーナ®」シリーズについて

1993年9月に発売いたしました「ビフィーナ®」シリーズは、27年連続で売り上げNo.1*を獲得した、国内通信販売を中心に販売している人気商品です。当社独自の耐酸性カプセル「ハイパープロテクトカプセル®」が、胃酸に弱いビフィズス菌を生きたまま腸まで届けます。

NHNE
(中国国際健康栄養博覧会)
内にてローンチイベントを
開催しました。



ブース出展の様子

初刊となる統合報告書を発行

③ **統合報告書2023** 2024年2月9日 当社コーポレートサイトにて公開

当社は、2024年2月9日に「統合報告書2023」を発刊し、コーポレートサイトにて公開いたしました。

株主の皆様、無事にお手元に届き、お読みいただけましたでしょうか。

本誌では、当社のこれまでの歩みや130周年を機に策定したパーパスについて、サステナビリティおよびESG経営の内容など、持続可能な社会の実現と企業価値向上のための取り組みを、財務・非財務の両面から総合的に説明させていただいております。

当社は今後もコーポレートサイトや統合報告書などを通じた適切な情報開示に努めるとともに、株主の皆様はじめステークホルダーとの対話を通じて企業価値の向上に努めてまいります。

TOP MESSAGE

2023年2月11日、森下仁丹は130周年を迎えました。創業者の森下博が、ここ大阪の地で「森下南陽堂」を起こした頃と比べて、私たちを取り巻く環境、そして皆さまの健康に対する課題やニーズ



は大きく変化しています。それでも、当社の原点である「仁丹」の2文字に込められた「思いやりの心」を変えることなく、今までまっすぐバトン

をつないでこられたのは、これまで当社を支えてくださったステークホルダーの皆さまのおかげにほかなりません。

次の時代で求められる「健康と豊かさ」を実現するために。「独自性」を強みに、私たちはこれからも新しい価値を生む挑戦を続けてまいります。

森下仁丹株式会社「統合報告書2023」の概要

- 公開日：2024年2月9日(金)
- 公開URL：https://www.jintan.co.jp/pdf/integrated_report2023.pdf
- 主な内容：森下仁丹の価値創造ストーリー…森下仁丹ものがたり/森下仁丹のパーパス/TOP MESSAGE/財務、非財務ハイライト/価値創造プロセス/成長を支える強み 森下仁丹のビジネス…広がる事業領域/事業概況(ヘルスケア事業、カプセル受託事業) 森下仁丹のサステナビリティ…ステークホルダーとのつながり/5つのマテリアリティ/森下仁丹とオープンイノベーション/森下仁丹と「仁財」投資/環境/社会/コーポレート・ガバナンス/会社概要、株式情報

